重度知的障害者を支援

コロナ困窮者に資格取得研修

知的障害者を支えるNPO法人「クリエイティブサポートレッツ」（浜松市中区）が七日、新型コロナ禍で生活困窮に陥った人を対象に、無料で重度知的障害者のヘルパー資格が取得できる研修を始めた。計二日間の研修で、十一月まで計五回開く。参加者を募っている。

二日間の研修を受けると、重度知的障害者の生活を支える重度訪問介護ヘルパーと、外出支援の資格が取れる。同市中区のレンタルスペース「Ａｎｙ」に二十～五十代の十二人が参加し、重度知的障害や自閉症のある人にみられる自傷行為をしたり、強いこだわりがあったりする状態「強度行動障害」について学んだ。

「県作業所連合会・わ」副理事長の高木誠一さんが講師を務め、自閉症があると一度に複数の情報が処理できず、言葉による対話が苦手である特性を説明。「絵を見せるように具体的に話すこと。特性を理解し、特性を考えた環境をつくって」と語った。レッツが経営する通所施設に通う重度障害者の外出支援の様子を動画で流し、寄り添うスタッフの姿を紹介した。

参加した磐田市今之浦の主婦古川君香さん(四五)は長男に知的障害がある。「強度行動障害にどう対応すれば良いのか、方向が見えた。ヘルパーの仕事も前向きに考えたい」と語った。

研修は、レッツが生活困窮者の支援とヘルパー不足解消を目的に企画した。問レッツ＝053（451）1355 （高島碧）

強度行動障害の特徴や対応を学ぶ参加者たち＝浜松市中区のレンタルスペース「Ａｎｙ」で